スイス派遣交流を通して学んだこと

鎌倉由梨亜

今回のスイス派遣交流では、ツェルマットやベルンを訪れ、自然環境や街並み、学校生活、食文化など、日本とは異なる多くの特色に触れた。写真や映像で知るだけでなく、現地で実際に見て体験したことで、それぞれの地域の魅力をより深く理解することができた。

ツェルマットで最初に印象に残ったのは、空気のおいしさである。環境への配慮からガソリン車の乗り入れが禁止されており、村内ではバスや馬車が利用されていた。こうした取り組みが澄んだ空気を守っているのだと感じた。また、建物の雰囲気が統一された街並みは美しく、さまざまな様式の建物が混在する日本との違いを感じた。

自然の雄大さも強く心に残った。ヨーロッパの山々は日本の山々よりも高く、鋭くとがった形をしていた。ハイキングの日は天候にも恵まれ、目の前にそびえるマッターホルンをはっきりと見ることができた。その景色は、今回の交流で最も忘れられない思い出の一つである。

学校見学では実際の授業に参加した。生徒が授業ごとに教室を移動する仕組みは日本と異なり、とても新鮮だった。放課後は、日本のような部活動や塾がなかったため、村内を歩き、土産物店を訪れて過ごした。ホームステイ先ではスイスの伝統料理を味わい、現地の家庭生活にも触れることができた。言葉や習慣が異なっていても、一緒に過ごすことで相手を身近に感じられた。

首都ベルンでは、熊の公園や西洋建築、街中に設置された飲用できる噴水が印象に残った。ベルンはツェルマットよりもかなり暑く、同じ国の中でも気候や街の様子が大きく異なることを実感した。

今回の派遣交流を通して、環境に配慮した暮らしや地域ごとに異なる文化を学び、日本との違いを実際に見て体験することの大切さを感じた。スイスで出会った人々や美しい景色、学校や家庭での経験は、今後も忘れられない貴重な思い出である。この経験を、異なる文化を尊重し、自分の視野を広げることにつなげていきたい。